

2024年12月期 第3四半期業績 説明会資料



AGC株式会社

2024年11月1日

Your Dreams, Our Challenge



2024年12月期 第3四半期業績	P.4
1. 業績のポイントと主要項目	P.5
2. セグメント別・地域別の状況	P.12
2024年通期業績の見通し	P.22
付属資料	P.29

2024年12月期第3四半期業績（累計）

	前年同期比	
売上高	15,342 億円	+504億円
営業利益	940 億円	▲15億円
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	▲ 1,064 億円	▲1,640億円

■ 建築ガラスの販売価格下落やロシア事業譲渡に伴う減収、自動車用ガラスの出荷減少、化学品の苛性ソーダ・塩化ビニル樹脂の販売価格の下落等があったものの、為替の増収効果や電子の売上増加により、前年同期比増収

■ 原燃材料価格が下落したものの、上述の減収要因に加え、オートモーティブ、ライフサイエンス等でのコスト悪化により、前年同期比減益

■ その他費用として上期に発生した、ライフサイエンス（バイオ医薬品CDMO事業）に係る減損損失およびロシア事業の譲渡に伴う関係会社株式売却損により、前年同期比減益

2024年12月期通期見通し

	前期比	
売上高	21,000 億円	+807億円
営業利益	1,300 億円	+12億円
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	▲ 950 億円	▲1,608億円

■ 2024年8月発表の業績見通しから変更なし

2024年12月期 第3四半期業績

1. 業績のポイントと主要項目



2024年12月期 第3四半期業績

* うち、為替差影響は+834億円、連結範囲変更の影響は▲201億円

(億円)

		FY2023 1-3Q累計	FY2024 1-3Q累計	増減	主な変動要因 (+) 増加要因 (-) 減少要因
売上高		14,838	15,342	+ 504*	(+) 円安 (+) 電子部材の出荷増加や液晶用ガラス基板の販売価格上昇 (-) 建築ガラスの販売価格下落、ロシア事業譲渡に伴う減収 (-) 自動車用ガラスの出荷減少 (-) 苛性ソーダ、塩ビの販売価格下落
営業利益		955	940	▲ 15	(+) 原燃材料価格の下落 (-) 上記の販売価格下落、出荷減少 (-) オートモーティブ、ライフサイエンス等でのコストの悪化
税引前利益		992	▲ 744	▲ 1,736	上記に加え、 (-) ライフサイエンス（バイオ医薬品CDMO事業）に係るその他費用の計上 (-) ロシアでの建築ガラス・オートモーティブ事業譲渡によるその他費用の計上
親会社の所有者に帰属する 当期純利益		575	▲ 1,064	▲ 1,640	
為替レート (期中平均)	1USD	JPY 138.11	JPY 151.29		
	1EUR	JPY 149.62	JPY 164.40		
原油 (Dubai、期中平均)	USD/BBL	81.61	81.62		

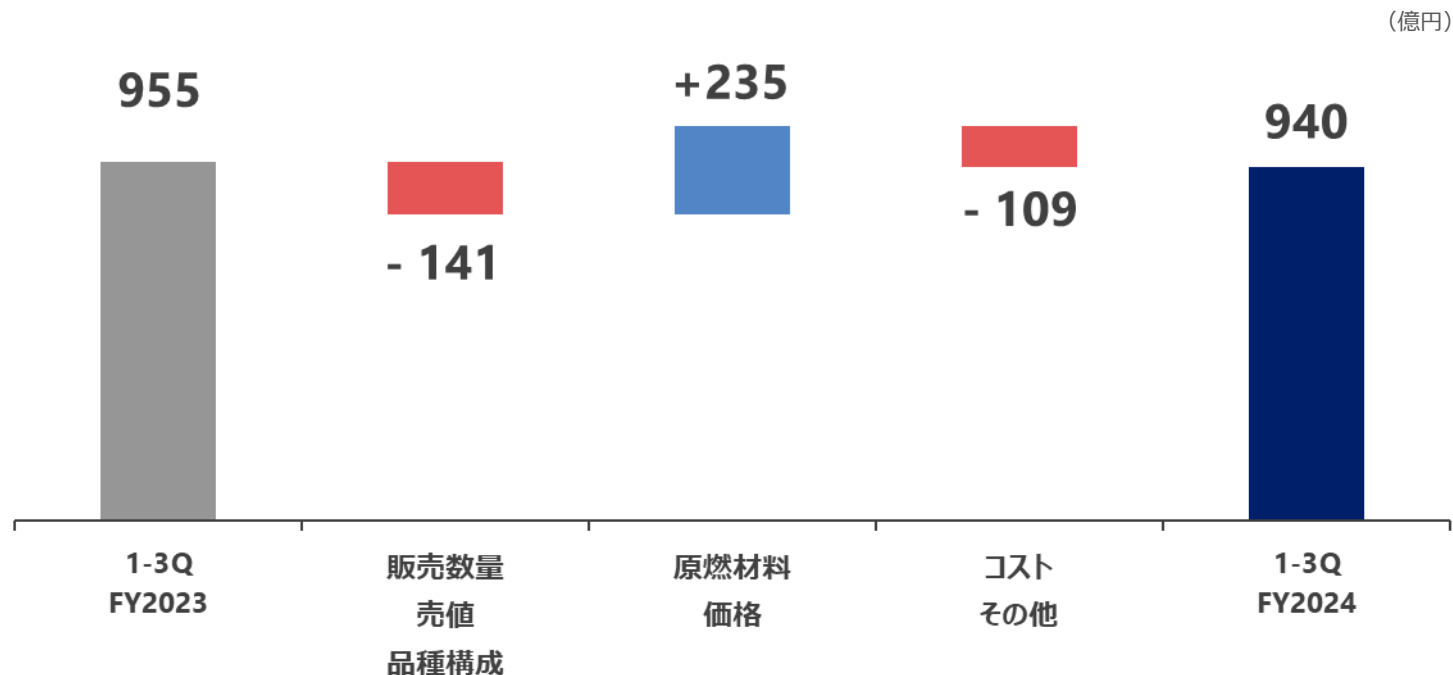
セグメント別業績 前年同期比較

(億円)

	FY2023 1-3Q累計 (a)		FY2024 1-3Q累計 (b)		増減 (b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	3,547	269	3,297	140	▲ 250	▲ 129
 オートモーティブ	3,662	162	3,750	114	+ 88	▲ 47
 電子	2,254	98	2,668	364	+ 414	+ 265
 化学品	4,255	479	4,394	446	+ 139	▲ 33
 ライフサイエンス	918	▲ 77	1,000	▲ 167	+ 82	▲ 90
 セラミックス・その他	601	26	621	41	+ 20	+ 15
消去	▲ 400	▲ 1	▲ 388	2	+ 12	+ 3
連結合計	14,838	955	15,342	940	+ 504	▲ 15

営業利益増減要因分析(1-3Q FY2024 vs. 1-3Q FY2023)

前年同期比 15億円減益



連結財政状態計算書

	2023/12	2024/9	(億円) 増減
現金及び現金同等物	1,461	1,138	▲ 323
棚卸資産	4,541	4,537	▲ 4
有形固定資産・無形資産及びのれん	16,312	15,651	▲ 661
その他	7,017	6,816	▲ 201
資産合計	29,330	28,142	▲ 1,188
有利子負債	6,950	6,560	▲ 390
その他	5,836	5,640	▲ 196
負債の部	12,787	12,200	▲ 587
親会社の所有者に帰属する持分合計	14,471	13,769	▲ 702
非支配持分	2,073	2,173	+ 100
資本の部	16,543	15,942	▲ 602
負債及び資本合計	29,330	28,142	▲ 1,188
D/E比率	0.42	0.41	

為替差影響
+304億円
減損影響
▲1,194億円

為替差影響
+437億円

為替差影響
+258億円

連結キャッシュフロー計算書

	(億円)	
	FY2023	FY2024
1-3Q累計		
税引前利益	992	▲ 744
減価償却費及び償却費	1,309	1,368
運転資金増減	▲ 521	▲ 134
その他	▲ 319	1,454
営業活動によるCF	1,462	1,944
投資活動によるCF	▲ 1,293	▲ 1,244
フリーキャッシュフロー	169	701
有利子負債増減	421	▲ 503
支払配当	▲ 460	▲ 446
その他	▲ 715	▲ 84
財務活動によるCF	▲ 753	▲ 1,033
現金等に係る換算差額等	126	10
現金等の増減額	▲ 459	▲ 323

減損損失の影響

+1,194億円

キャッシュアウトを伴わない
関係会社の売却による
損失の影響

+365億円

関係会社の売却による
キャッシュインの影響

+221億円

設備投資・減価償却費・研究開発費

1-3Q累計	FY2023	FY2024
設備投資額	1,542	1,791
建築ガラス	160	205
オートモーティブ	165	210
電子	385	310
化学品	579	824
ライフサイエンス	234	215
セラミックス・その他	20	27
消去	▲ 1	▲ 0

1-3Q累計	FY2023	FY2024
減価償却費	1,309	1,368
建築ガラス	182	188
オートモーティブ	236	249
電子	395	400
化学品	376	400
ライフサイエンス	106	120
セラミックス・その他	16	13
消去	▲ 1	▲ 1

(億円)

1-3Q累計	FY2023	FY2024
研究開発費	414	450

2024年 主な設備投資 案件

- 東南アジアロールアルカリ能力増強 (化学品)
- バイオ医薬品・合成医薬CDMO能力増強 (ライフサイエンス)
- 電子部材関連製造設備増強 (電子)
- フッ素関連製品能力増強 (化学品)
- 建築用ガラス製造窯修繕 (建築ガラス)
- ディスプレイ製造窯修繕 (電子) など

2. セグメント別・地域別の状況



1-3Q累計	FY2023	FY2024	増減
売上高	3,547	3,297	▲ 250*
アジア	1,160	1,135	▲ 25
欧米	2,378	2,144	▲ 234
(セグメント間)	10	18	+ 8
営業利益	269	140	▲ 129

* うち、為替差影響は+215億円、連結範囲変更の影響は▲131億円 (億円)

アジア

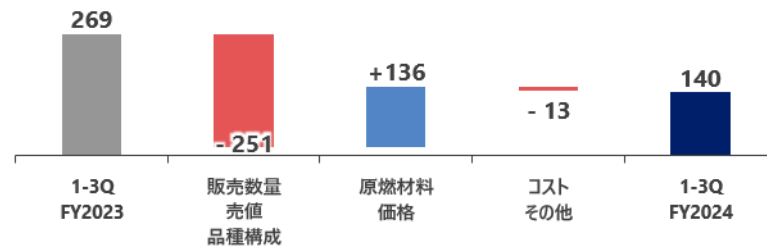
- 出荷が減少したことにより減収

欧米

- 為替による増収効果はあったものの、欧州で販売価格が下落したことに加え、ロシア事業譲渡の影響により減収

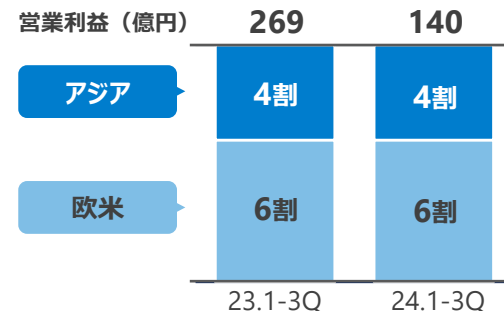
営業利益増減要因分析

(億円)



営業利益 構成比

共通費配賦前



1-3Q累計	FY2023	FY2024	増減
売上高	3,662	3,750	+ 88*
オートモーティブ	3,659	3,749	+ 89
(セグメント間)	3	1	▲ 1
営業利益	162	114	▲ 47

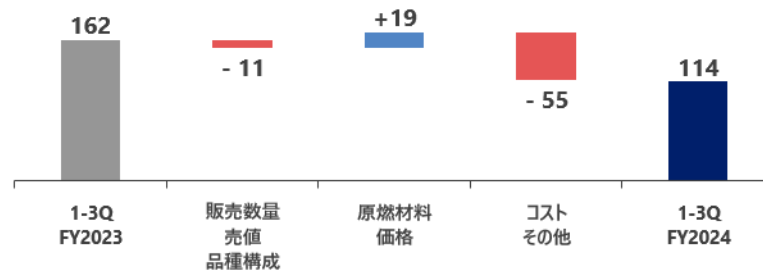
* うち、為替差影響は+242億円、連結範囲変更の影響は▲37億円 (億円)

自動車用ガラス

- 日本を中心に自動車生産台数が減少したことにより、当社グループの出荷は減少したものの、為替の効果等により増収
- 北米の生産・出荷トラブルを主たる要因とするコスト増加により減益

営業利益増減要因分析

(億円)



1-3Q累計	FY2023	FY2024	増減
売上高	2,254	2,668	+ 414*
ディスプレイ	1,201	1,322	+ 121
電子部材	1,045	1,332	+ 287
(セグメント間)	8	14	+ 6
営業利益	98	364	+ 265

* うち、為替差影響は+72億円、連結範囲変更の影響は▲25億円

(億円)



ディスプレイ

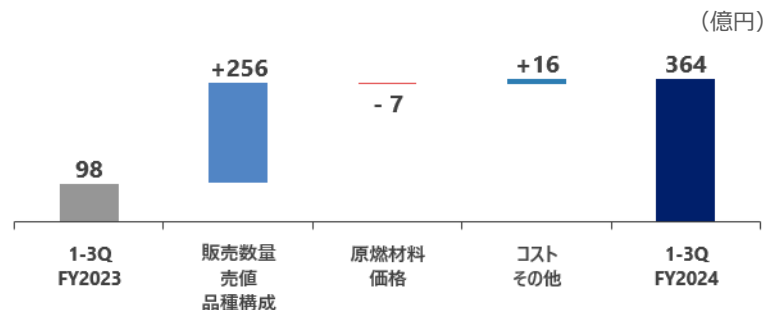
- 液晶用ガラス基板の出荷増加や販売価格上昇等により増収



電子部材

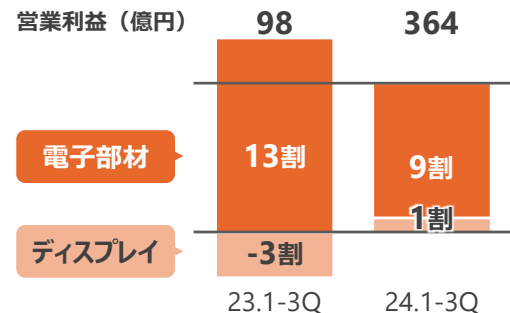
- EUV露光用フォトマスクブランクス等の半導体関連製品やオプトエレクトロニクス用部材の出荷が増加したことに加え、為替の効果もあり増収

営業利益増減要因分析



営業利益 構成比

共通費配賦前



1-3Q累計	FY2023	FY2024	増減
売上高	4,255	4,394	+ 139*
エッセンシャルケミカルズ	3,010	3,046	+ 36
パフォーマンスケミカルズ	1,212	1,321	+ 110
(セグメント間)	33	27	▲ 7
営業利益	479	446	▲ 33

* うち、為替差影響は+228億円、連結範囲変更の影響はなし

(億円)

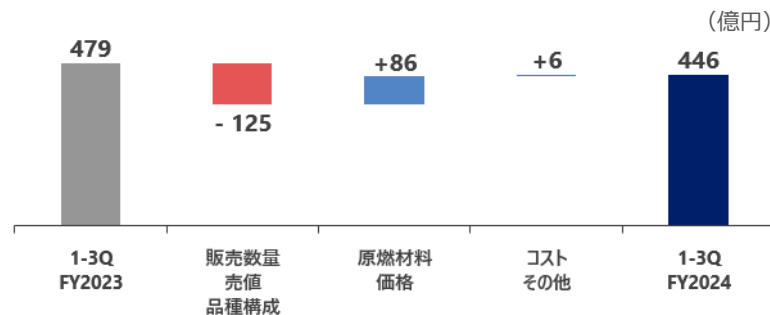
エッセンシャルケミカルズ

- 為替による増収効果があったものの、苛性ソーダ、塩ビの販売価格が下落し、売上高は横ばい

パフォーマンスケミカルズ

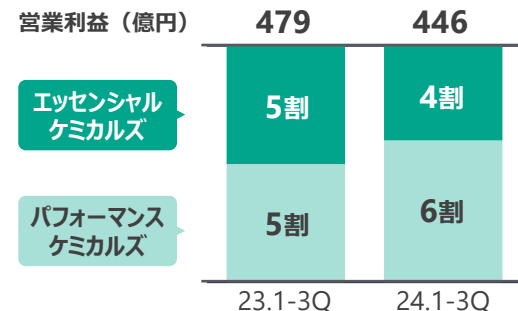
- 為替の影響や販売価格の上昇により増収

営業利益増減要因分析



営業利益 構成比

共通費配賦前



1-3Q累計	FY2023	FY2024	増減
売上高	918	1,000	+ 82*
ライフサイエンス	902	971	+ 69
(セグメント間)	16	29	+ 14
営業利益	▲ 77	▲ 167	▲ 90

* うち、為替差影響は+67億円、連結範囲変更の影響はなし

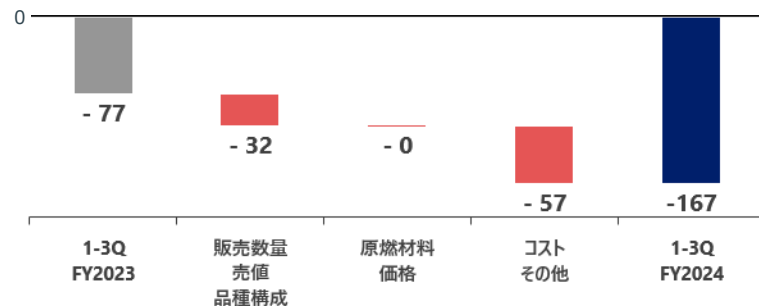
(億円)

ライフサイエンス

- コロナ特需の消失、バイオベンチャーへの資金流入減等の影響を受けたものの、為替による増収効果に加え、受託案件精算に伴う一時収入等により増収
- バイオ医薬品CDMOにおける能力増強に伴う先行費用等が発生

営業利益増減要因分析

(億円)



収益改善に向けた施策と効果

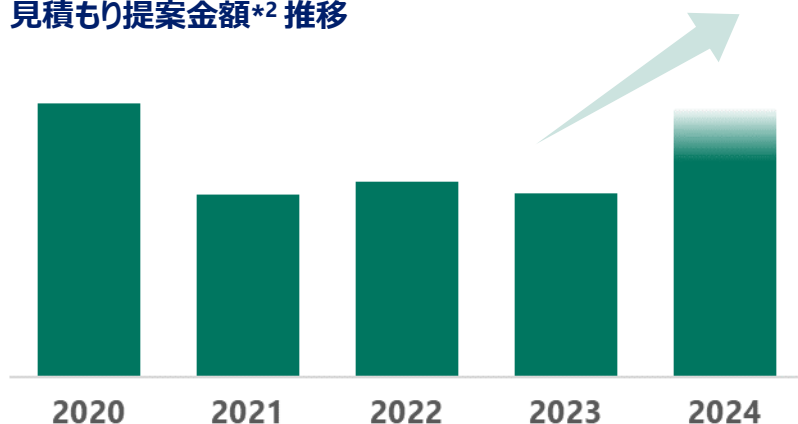
- 収益性は第2四半期を底に、第3四半期より徐々に改善
- 固定費の削減やオペレーション改善施策等を実施し、順次効果が発現

施策の方向性	地域	モダリティ	施策の進捗	効果
構造改革等による 固定費削減策	米国	動物細胞 微生物	シアトル拠点の人員削減を2Qに実施	年間17億円の固定費削減 (2024年は10億円の効果)
		遺伝子 細胞治療	ロングモント拠点を3Qに凍結し、 遺伝子細胞治療用のキャパシティを適正化	年間25億円の固定費削減 (2025年より効果発現)
受注・売上増加策	米国	動物細胞 微生物	シアトル拠点のオペレーション改善、FDA認可3件取得	今後の売上・受注活動への好影響
	欧州		コペンハーゲン拠点の増設設備が9月より稼働開始	2024年より徐々に受注増加
マネージメント・ 営業体制強化策	全拠点共通		AGC Biologics CEOを含む経営陣の新体制発足 製剤サービスを含めたワンストップサービス体制構築 AGCグループのリソースを活用しオペレーション強化および 中長期的な差別化技術の開発等を推進	経営基盤強化 営業競争力向上 経営基盤強化・競争優位性向上

ライフサイエンスセグメントの中長期的な業績見通し

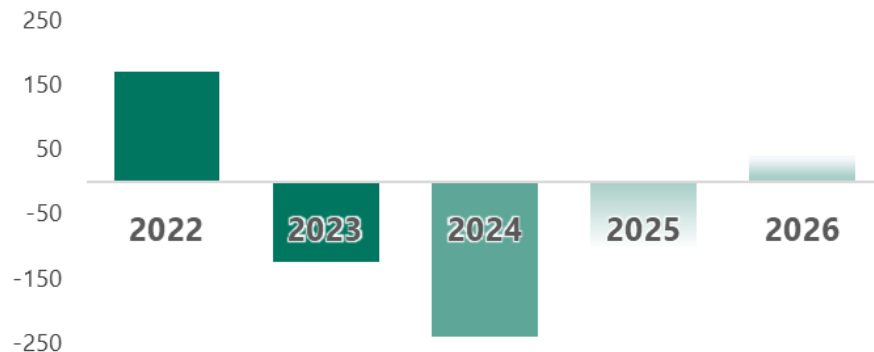
- バイオ医薬品CDMO事業の業績悪化の内部要因解消と市場環境回復により、稼働率は徐々に上昇
- 将来の売上高の先行指標となる見積もり提案金額は増加基調
- 中計期間中は追加の増強投資を行わず^{*1}、既存設備の稼働率上昇を最優先課題として取り組む
- 2026年にライフサイエンス事業の黒字化を確実に達成。次期中計期間中の早期に営業利益300億円を超える水準を目指す

バイオ医薬品CDMO事業のお客様への 見積もり提案金額^{*2} 推移



ライフサイエンスセグメントの営業利益見通し

(億円)



^{*1}既に発表済の設備投資は継続

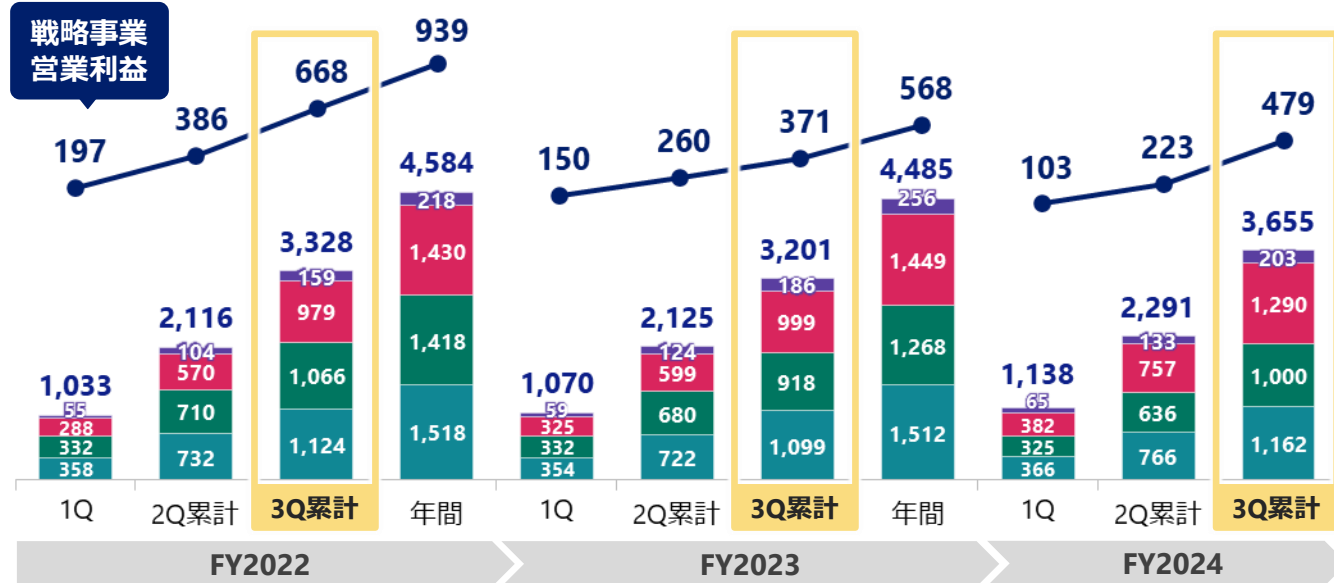
^{*2}売上金額の先行指標。受注から一定期間(通常1-2年)後に売上計上。

戦略事業の利益貢献

- バイオ医薬品CDMOは収益悪化も、エレクトロニクスの特半導体関連製品やパフォーマンスケミカルズの売上伸長がけん引し、前年同期比増収増益

戦略事業売上高推移

(億円)



主な製品・事業

モビリティ

- 車載ディスプレイ用カバーガラス
- CASE向けの高付加価値品

エレクトロニクス

- 半導体関連部材
- オプトエレクトロニクス用部材
- 次世代高速通信用部材

ライフサイエンス

- 合成医薬品CDMO
- バイオ医薬品CDMO

パフォーマンスケミカルズ

- 多業界向け高性能フッ素製品

地域別業績 前年同期比較

	(億円)		
1-3Q累計	FY2023	FY2024	増減
売上高	14,838	15,342	+ 504
日本・アジア	9,321	9,658	+ 336
アメリカ	1,623	1,944	+ 320
ヨーロッパ	3,893	3,741	▲ 153
営業利益	955	940	▲ 15
日本・アジア	1,077	1,318	+ 240
アメリカ	▲ 53	▲ 86	▲ 32
ヨーロッパ	273	83	▲ 190
地域共通費用	▲ 342	▲ 375	▲ 33

為替差影響

+834億円

連結範囲変更の影響

▲201億円

2024年通期業績の見通し

2024年 通期業績見通し

■ 2024年第2四半期決算発表時の業績見通しから変更なし

		(億円)	
		FY2023	FY2024e
売上高		20,193	21,000
	(上期)	9,853	10,152
営業利益		1,288	1,300
	(上期)	643	567
税引前利益		1,228	▲ 420
親会社の所有者に帰属する当期純利益		658	▲ 950
1株当たり配当 (円)		210	210
営業利益率		6.4%	6.2%
ROE		4.6%	▲ 6.6%*
為替レート (期中平均)	1 USD	JPY 140.6	JPY 151.0
	1 EUR	JPY 152.0	JPY 163.0
原油 (Dubai、期中平均)	USD/BBL	82.1	85.0
エチレン (CFR SEA)	USD/MT	889	980

* FY2024予想のROEは、2023年12月末時点の親会社の所有者に帰属する持分合計を使用

セグメント別 売上高/営業利益見通し

■ 第2四半期決算発表時点から据え置くも、営業利益内訳は差異が生じる見込み

- 建築ガラス、オートモーティブは弱含み、電子は強含み
- 化学品は想定線、ライフサイエンスは見通しよりやや良化

(億円)

	FY2023 (a)		FY2024e (b)		増減 (b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	4,763	328	4,600	230	▲ 163	▲ 98
 オートモーティブ	4,997	218	5,100	230	+ 103	+ 12
 電子	3,132	184	3,500	450	+ 368	+ 266
 化学品	5,741	648	6,200	600	+ 459	▲ 48
 ライフサイエンス	1,268	▲ 124	1,300	▲ 240	+ 32	▲ 116
 セラミックス・その他	834	33	900	30	+ 66	▲ 3
消去	▲ 542	1	▲ 600	0	▲ 58	▲ 1
連結合計	20,193	1,288	21,000	1,300	+ 807	+ 12

4Q FY2024 見通し(vs 3Q FY2024)



建築ガラス

アジア

- 建築需要は伸び悩むものの、高断熱・遮熱ガラス需要が下支えし、当社の出荷は横ばい

欧米

- 欧州では景気低迷の影響が継続



オートモーティブ

- 自動車生産台数は日本ではやや増加するものの、一部の地域では季節性により減少見込み。当社グループの出荷は全体として前四半期並み
- 北米では価格政策等の収益改善に向けた更なる取組みに着手



電子

ディスプレイ

- 液晶用ガラス基板の出荷は前四半期比でやや減少
- ディスプレイ用特殊ガラスはスマートフォン市場が需要期となるため、出荷が堅調に推移

電子部材

- EUV露光用フォトマスクブランクス等の半導体関連製品は出荷が増加
- オプトエレクトロニクス用部材は調整期となり前四半期比では、出荷が減少

4Q FY2024 見通し(vs 3Q FY2024)



化学品

エッセンシャルケミカルズ

- 東南アジアの需要は堅調に推移するものの、中国経済低迷により市況は低水準で推移

パフォーマンスケミカルズ

- 半導体向け、輸送機器向けフッ素関連製品の需要増により、出荷が増加



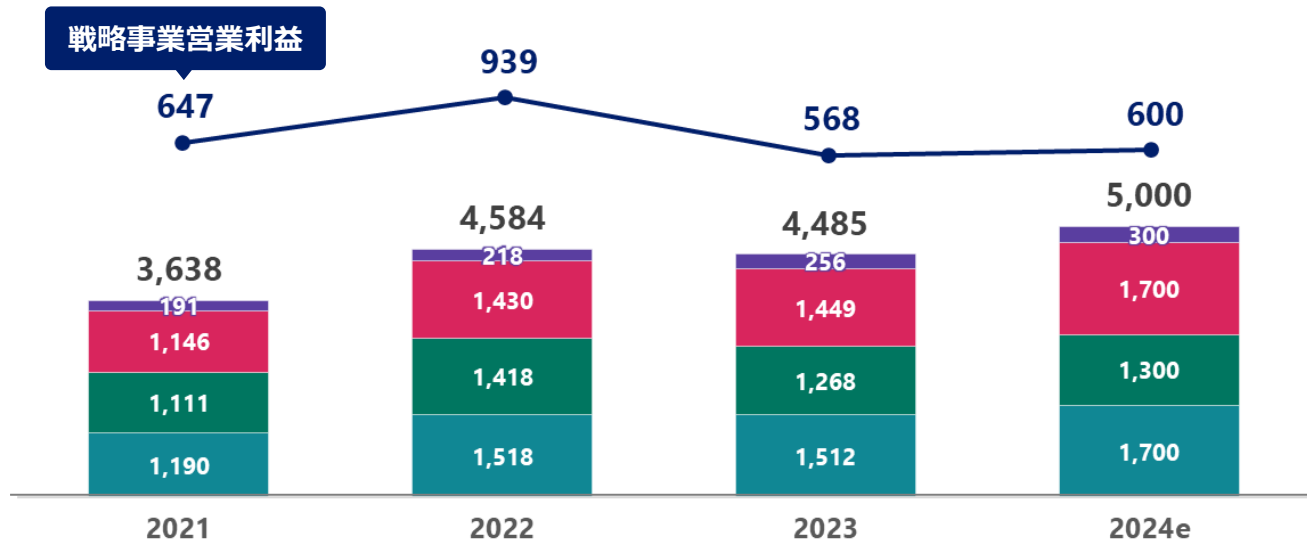
ライフサイエンス

- 合成医農薬CDMOは農薬市場の在庫調整の影響が継続するものの、合成医薬の出荷は増加する見込み
- バイオ医薬品CDMOは、受託案件精算に伴う一時収入が減少するものの、コペンハーゲン拠点増設設備の稼働が寄与

- 年間見通しについては、第2四半期決算発表時点の見通しから変更していない
- 戦略事業全体の営業利益については、エレクトロニクスを中心に見通しを上回るペースで進捗

戦略事業売上高推移

(億円)



主な製品・事業

モビリティ

- 車載ディスプレイ用カバーガラス
- CASE向けの高付加価値品

エレクトロニクス

- 半導体関連部材
- オプトエレクトロニクス用部材
- 次世代高速通信部材

ライフサイエンス

- 合成医薬CDMO
- バイオ医薬品CDMO

パフォーマンスケミカルズ

- 多業界向け高機能フッ素製品

設備投資額・減価償却費・研究開発費の見通し

年間	FY2023	FY2024e
設備投資額	2,317	2,500
建築ガラス	247	350
オートモーティブ	263	200
電子	514	400
化学品	877	1,160
ライフサイエンス	399	370
セラミックス・その他	18	20
消去	▲ 1	0

年間	FY2023	FY2024e
減価償却費	1,753	1,850
建築ガラス	244	250
オートモーティブ	319	340
電子	532	550
化学品	501	530
ライフサイエンス	139	170
セラミックス・その他	21	10
消去	▲ 2	0

(億円)

年間	FY2023	FY2024e
研究開発費	573	600

2024年 主な設備投資 案件

- 東南アジアクロールアルカリ能力増強 (化学品)
- フッ素関連製品能力増強 (化学品)
- バイオ医薬品CDMO能力増強 (ライフサイエンス)
- 電子部材関連製造設備増強 (電子) など

付属資料

セグメント別 ROCE・EBITDA

(億円)

	営業利益		EBITDA*		ROCE		営業資産	
	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023
 建築ガラス	327	328	566	572	10.9%	10.6%	3,000	3,100
 オートモーティブ	▲ 98	218	227	537	▲3.0%	6.4%	3,300	3,400
 電子	147	184	830	715	2.6%	3.1%	5,650	6,000
 化学品	1,261	648	1,736	1,148	23.3%	10.4%	5,400	6,200
 ライフサイエンス	169	▲ 124	284	15	6.7%	▲4.3%	2,500	2,900
 セラミックス・その他	37	33	56	55	18.4%	16.7%	200	200
消去ほか	▲ 3	1	▲ 4	0	—	—	—	—
合計	1,839	1,288	3,696	3,041	9.2%	5.9%	20,050	21,800

営業利益に対するインパクト



為替

1%円安で
6億円*増益

*JPYに対して全ての通貨が同じ割合で動いた場合の
影響額



原油

1バレルあたり
1ドル上昇した場合
2.8億円*減益

*ヘッジ影響除く



化学品 市況

1 苛性ソーダ

国際市況が\$1上がると**\$1M**の増益

2 塩ビスプレッド

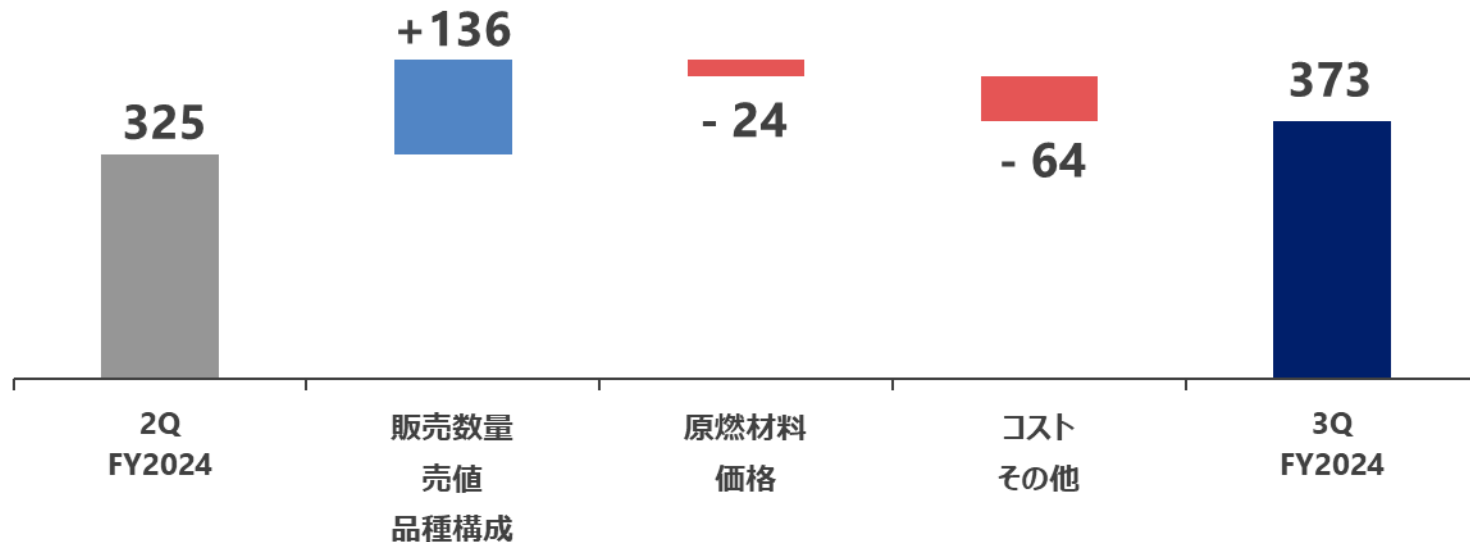
\$1上がると**\$1.2M**の増益*

*塩ビスプレッド：塩比市況－(エチレン市況×0.5)

営業利益増減要因分析 (3Q FY2024 vs. 2Q FY2024)

前四半期比 48億円増益

(億円)



売上高 セグメント・地域別展開 前年同期比較

(億円)

		日本・アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計
 建築ガラス	3Q FY2024	397	77	571	6	1,050
	3Q FY2023	401	78	667	4	1,150
 オートモーティブ	3Q FY2024	634	259	338	1	1,231
	3Q FY2023	661	264	330	1	1,255
 電子	3Q FY2024	835	131	2	7	975
	3Q FY2023	746	84	2	3	835
 化学品	3Q FY2024	1,344	80	58	8	1,490
	3Q FY2023	1,278	80	57	12	1,428
 ライフサイエンス	3Q FY2024	71	111	173	10	364
	3Q FY2023	79	19	137	3	238
 セラミックス・その他	3Q FY2024	110	-	1	87	198
	3Q FY2023	101	-	-	106	207
消去	3Q FY2024	-	-	-	▲ 118	▲ 118
	3Q FY2023	-	-	-	▲ 127	▲ 127
合計	3Q FY2024	3,390	658	1,142	-	5,190
	3Q FY2023	3,266	525	1,193	-	4,985

売上高 セグメント・地域別展開 前年累計比較

(億円)

		日本・アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計
 建築ガラス	1-3Q FY2024	1,135	220	1,924	18	3,297
	1-3Q FY2023	1,160	224	2,154	10	3,547
 オートモーティブ	1-3Q FY2024	1,825	836	1,087	1	3,750
	1-3Q FY2023	1,867	739	1,054	3	3,662
 電子	1-3Q FY2024	2,265	384	6	14	2,668
	1-3Q FY2023	2,005	233	8	8	2,254
 化学品	1-3Q FY2024	3,925	246	197	27	4,394
	1-3Q FY2023	3,782	247	193	33	4,255
 ライフサイエンス	1-3Q FY2024	193	258	520	29	1,000
	1-3Q FY2023	236	181	485	16	918
 セラミックス・その他	1-3Q FY2024	315	-	7	299	621
	1-3Q FY2023	271	-	-	330	601
消去	1-3Q FY2024	-	-	-	▲ 388	▲ 388
	1-3Q FY2023	-	-	-	▲ 400	▲ 400
合計	1-3Q FY2024	9,658	1,944	3,741	-	15,342
	1-3Q FY2023	9,321	1,623	3,893	-	14,838

業績推移 (1)

(億円)

建築ガラス	1Q FY2023	2Q FY2023	3Q FY2023	4Q FY2023	1Q FY2024	2Q FY2024	3Q FY2024
売上高	1,205	1,192	1,150	1,216	1,103	1,144	1,050
アジア	373	386	401	424	352	386	397
欧米	831	802	745	785	746	750	648
(セグメント間)	1	5	4	7	5	8	6
営業利益	93	93	83	59	42	60	38
オートモーティブ	1Q FY2023	2Q FY2023	3Q FY2023	4Q FY2023	1Q FY2024	2Q FY2024	3Q FY2024
売上高	1,184	1,223	1,255	1,335	1,242	1,277	1,231
オートモーティブ	1,183	1,221	1,255	1,335	1,240	1,278	1,231
(セグメント間)	1	1	1	0	1	▲1	1
営業利益	48	54	59	56	48	58	9
電子	1Q FY2023	2Q FY2023	3Q FY2023	4Q FY2023	1Q FY2024	2Q FY2024	3Q FY2024
売上高	702	717	835	878	825	868	975
ディスプレイ	358	425	418	406	428	473	421
電子部材	341	290	414	468	394	391	547
(セグメント間)	4	2	3	4	3	4	7
営業利益	19	11	69	85	72	128	164

業績推移 (2)

(億円)

化学品	1Q FY2023	2Q FY2023	3Q FY2023	4Q FY2023	1Q FY2024	2Q FY2024	3Q FY2024
売上高	1,410	1,418	1,428	1,486	1,436	1,468	1,490
エッセンシャルケミカルズ	1,009	999	1,002	1,018	1,005	1,006	1,034
パフォーマンスケミカルズ	391	407	414	457	421	453	447
(セグメント間)	9	13	12	11	10	8	8
営業利益	172	137	170	169	136	140	170

ライフサイエンス	1Q FY2023	2Q FY2023	3Q FY2023	4Q FY2023	1Q FY2024	2Q FY2024	3Q FY2024
売上高	332	348	238	350	325	311	364
ライフサイエンス	321	346	235	337	309	307	354
(セグメント間)	11	2	3	13	16	4	10
営業利益	6	▲ 1	▲ 83	▲ 46	▲ 63	▲ 79	▲ 26

数量・価格動向

				2023				2024		
				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
前年同四半期比 (YoY)										
ガラス	建築用ガラス (AGC)	日ア	数量	▲1割弱	▲1割	▲数%	+1桁半ば	▲10%台半ば	+1割弱	微増
			価格	+約3割	+約3割	+3割弱	+2割強	+1桁半ば	▲1桁半ば	▲1桁半ば
		欧州* ²	数量	▲10%台半ば	▲10%台半ば	▲数%	▲1桁半ば	横ばい	+1割弱	▲1桁半ば
			価格	+3割弱	▲約1割	▲約4割	▲4割	▲3割強	▲3割	▲10%台半ば
	自動車生産台数 (S&P global 10/4データより)	日本	数量	+13%	+27%	+13%	+12%	▲13%	▲5%	▲6%
		北米	数量	+10%	+15%	+8%	+6%	+2%	+1%	▲6%
		欧州* ²	数量	+25%	+16%	+5%	+6%	▲3%	▲6%	▲7%
電子	ディスプレイパネル需要* ¹ (Omdia社)		グローバル 面積	▲14%	+5%	+11%	▲4%	+10%	+5%	+1%

*¹ 出典：Omdia-Display Long-Term Demand Forecast Tracker – 2Q24 Pivot

Results are not an endorsement of AGC Inc. Any reliance on these results is at the third-party's own risk.

*² 東欧を除く

		IFRS				
		19/12	20/12	21/12	22/12	23/12
売上高	百万円	1,518,039	1,412,306	1,697,383	2,035,874	2,019,254
営業利益	百万円	101,624	75,780	206,168	183,942	128,779
営業利益率	%	6.7	5.4	12.1	9.0	6.4
親会社の所有者に帰属する当期純利益	百万円	44,434	32,715	123,840	▲ 3,152	65,798
自己資本当期純利益率 (ROE) *1	%	3.9	2.9	10.2	▲ 0.2	4.6
総資産営業利益率 (ROA) *2	%	4.4	3.1	7.9	6.7	4.5
自己資本比率	%	50	44	49	49	49
D / E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.47	0.63	0.41	0.41	0.42
営業CF / 有利子負債	倍	0.32	0.29	0.54	0.33	0.31
一株当たり当期純利益 (EPS)	円	200.85	147.84	559.11	▲ 14.22	304.73
一株当たり配当金	円	120	120	210	210	210
EBITDA *3	百万円	231,857	208,459	383,226	253,209	315,965
為替レート (期中平均)	円/ドル	109.05	106.82	109.80	131.43	140.56
	円/ユーロ	122.07	121.81	129.89	138.04	152.00

*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

*2 営業利益/総資産 (期中平均)

*3 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

その他の財務指標についてはこちらを参照ください  https://www.agc.com/ir/pdf/data_all.pdf

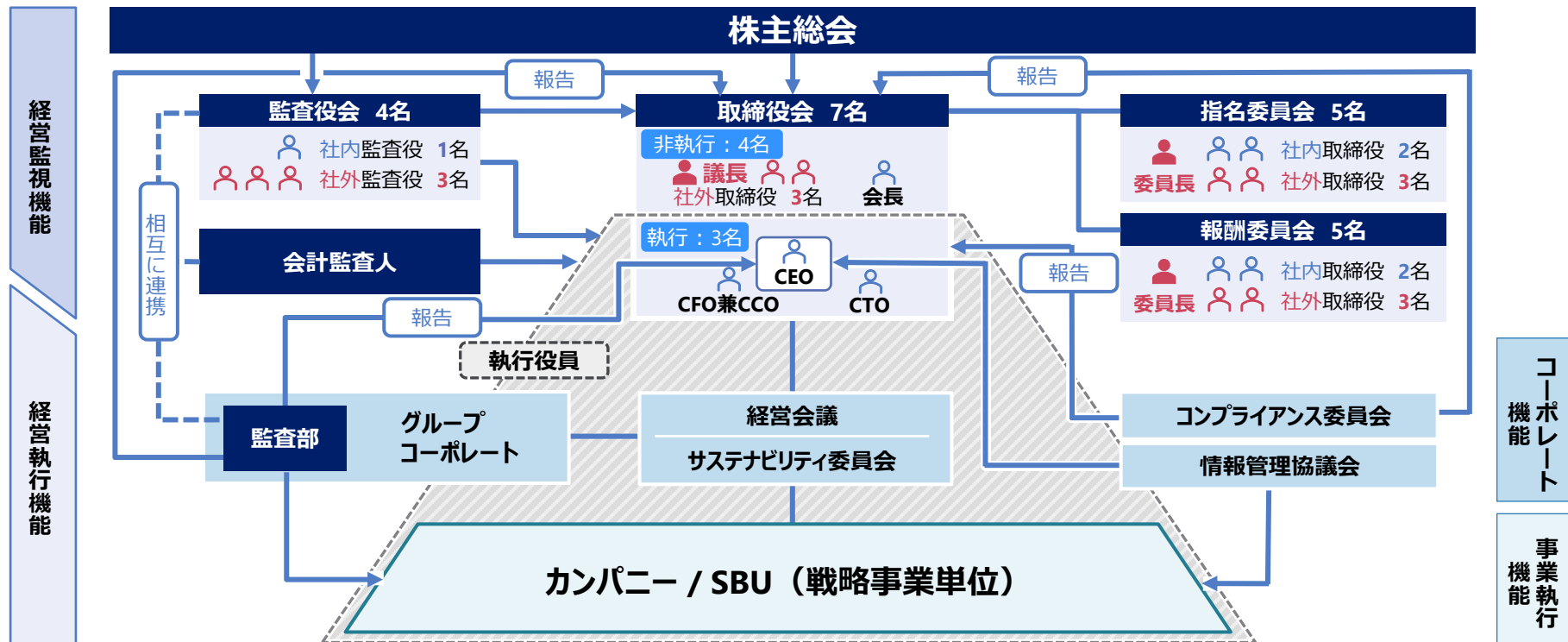
AGCグループの提供する社会的価値

- これまでAGCは、社会・産業の発展に貢献することで事業を拡大し、社会的価値を創出してきた



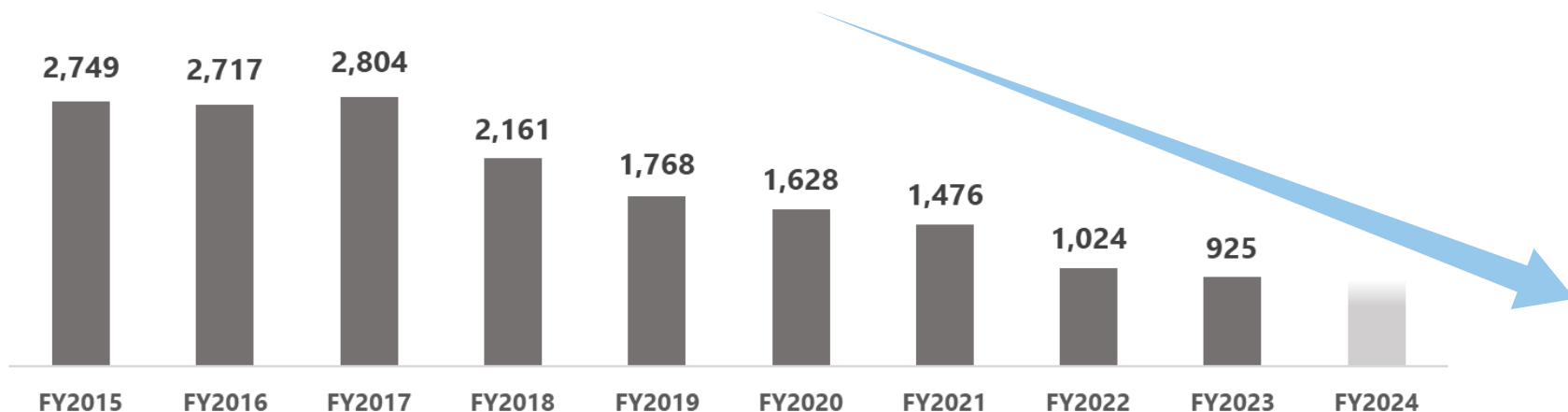
当社のコーポレートガバナンス体制の概要図

👤 : 社内出身の取締役又は監査役 👤👤 : 独立性が確保された社外取締役又は社外監査役



- 政策保有株式（みなし保有株式を含む）は原則として保有しない方針
- 2023年末の政策保有株式は70銘柄925億円（うち、みなし保有株式2銘柄504億円）
- 2024年も縮減を継続中。今後さらなる縮減に取り組む

政策保有株式の残高推移* (億円)



 FTSE4Good	FTSE4Good Index Series に選定
 FTSE Blossom Japan Index	FTSE Blossom Japan Index に選定
 FTSE Blossom Japan Sector Relative Index	FTSE Blossom Japan Sector Relative Index に選定
	S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数に選定
	CDP気候変動レポート2023 A-評価

 SCIENCE BASED TARGETS DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION	SBTi 温室効果ガス削減目標「WB2℃」認定取得
 NIKKEI Smart Work ★★★★ 2024	「第7回日経スマートワーク経営調査」4星の格付けを獲得
	EcoVadisサステナビリティ評価で高評価を取得
	Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター 2023 に選定
 DX銘柄2024 Digital Transformation	「DX銘柄2024」に選定

2024年 主要発表事項

 発表日	 内容
1月30日	グリーン水素製造に適したフッ素系イオン交換膜FORBLUE™ Sシリーズの製造設備を北九州市に新設
2月7日	取締役等に対する株式報酬の算定方法の改定について
2月7日	株主還元方針の変更に関するお知らせ
2月8日	新たな中期経営計画AGC plus-2026を策定
2月22日	投資単位の引下げに関する考え方及び方針等について
2月28日	ロシア事業の譲渡を完了
3月25日	太陽光パネルカバーガラスのリサイクル実証試験に成功
4月5日	建築用ガラスの環境製品宣言（EPD）を取得
4月23日	国内建築用ガラスの物流関連費および輸送条件を改定
5月7日	AGC Techno Glass (Thailand) Co., Ltd.の生産活動終了に関するお知らせ
5月28日	「DX銘柄2024」に選定
8月7日	革新的なフッ素ポリマー製造技術を開発
9月2日	台湾に半導体・電子材料向け化学製品のテクニカルサービス拠点を開設
9月5日	AGCグループ、「Cradle to Cradle Certified®」を取得

予測に関する注意事項：

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。



Your Dreams, Our Challenge